

学校運営協議会だより

飯小学校学校運営
協議会事務局

共に育ち 共に生きる 地域の学校

第 1 号

R2. 6月1日



5月22日(金)、第1回目の学校運営協議会を開きました。通常登校に戻った3日目の授業の様子を参観した後、音楽室にて、新型コロナウイルス感染症対策を中心に令和2年度の教育活動について委員間で意見交換を行いました。

例年行っている、全教職員との面識会と部会は3密を避けるため、実施しませんでした。

＝令和2年度学校運営協議会委員＝

神村 大輔：上越教育大学特任教授
風間 寿春：城北中学校区子どもを育てる会会長
閨間 律子：城北中学校区地域コーディネーター
小林 實：明照幼稚園長
新井 一昭：ほたる保育園長
丸田 明久：若竹寮所長
相羽 信良：学識経験者
齋藤 邦博：飯町内会長
高宮 宏一：飯小学校後援会長
小森 奈津美：PTA 副会長
吉川 佳織：PTA 副会長
大滝 幸治：学校運営協議会長

～ 内 容 ～

14:30 授業参観

15:00 協議会

- ・令和2年度役員確認
- ・令和2年度学校経営方針説明
- ・新型コロナウイルス感染症への対策(動画配信・学力保障等)の説明
- ・質疑応答

協議会で出された主な意見

- 学校経営方針は大変わかりやすい。子どもの力を付けるとともに教員の力を付けるというのが良い。激務の中で研修を行うのは大変だろうが、長い目で見れば、地道な研修を積むことが子どもたちに還元される。
- 授業の様子を見させてもらったが、子どもたちは落ち着いて集中して授業に取り組んでいた。
- 子どもの格差が心配である。中には、切ない思いを抱いて学校に来ている子や負い目を感じている子がいると思われる。教師はそんな子どもに寄り添って励ましてもらいたい。
 - ➡学校の説明
 - ・教育相談週間を前倒しして実施する。分かったことを職員全体で共有し対応に当たる。

○動画配信という取組は素晴らしい。しかし、それを見られない家庭もあると思われ。そういった格差に対する対応が必要である。

➡学校の説明

- ・休業中に行った Web アンケートで 2%の家庭がインターネットを見る環境が無いこと、また 8%の子どもは機器が親の仕事関係のものであるため閲覧できないことが分かった。学校としては、そういう家庭を大事にしたいと考え、休業中に自由に学校で閲覧できる環境を整えた。視聴に訪れた親子が何組かあった。

○環境づくりが必要である。個別の指導ができる体制づくりを。

○感染症対策のため 1 学期の行事が延期されたようだが、2 学期が子どもにとって過度の負担がかからない配慮が必要だ。詰め込み過ぎないように。

○子どもの家に子どもたちがまったく来ない。子どもたちの体力低下が心配である。少しずつ解除の方向で行くと思うが、急に集まって感染がぶり返してもいけない。

○外でも子どもの姿を見かけない。また、ストレスを感じている子どももいるのではないか。今まで考えられなかった症状が現れるかもしれない。学校での対応や配慮が必要と思われる。

○幼稚園は、運動会をリージョンで平常に近い形で計画している。保護者席は 2 階席のみとして密にならないように配慮する。「新しい生活様式」を考慮する。

○子どもは学校が始まって楽しいと言っているが、不安定である。2 学期の PTC が今後どうなるか考えなければならない。密接になる調理などはウイルスが心配なためできない。子どもたちにはなんとか楽しさや達成感を味わわせたい。

○文化祭は祖父母や地域の方々が来校する。分散して見てもらうなど形を変えることが必要。児童の活動はワークショップとは違う学年の学習発表となるかもしれないがやってほしい。PTA バザーも安全面を考えて検討する必要がある。

○運動会は子どもたちが思い出を作る行事でもある。形を変えてでも実施してほしい。

○地域のスポーツクラブも全く実施できていない。中学生は大会等がなくなり、目標を失ってしまっている。

○子どもを育てる会の事業や地域の自転車教室も中止や延期となっている。学校の行事が何らかの形で実施されれば、地域も動きやすくなる。

➡学校の受け止め

- ・環境づくり、思い出づくりの話もいただいたが、まずは、時間づくり、場づくり、安全安心づくりをキーワードとして受け止め、学校運営に生かしていきたい。